

茨城県立土浦湖北高等学校 令和5年度 学校グランドデザイン

学校教育目標

- (1) 文武両道を柱とする活力ある進学校
- (2) 校訓である「自律・創造・奉仕」の実践をとおして、地域・社会に貢献する人材育成
- (3) 信頼と魅力あふれる開かれた学校

- 重点目標 (1) 学び続ける態度の育成と学力向上 (2) 自分で決められる生徒の育成を目指し、それを支援するための個に応じた進路指導の充実 (3) 規範意識及び安全に関する態度の育成 (4) 素直に感謝する気持ちを育み、豊かな人間性・社会性を身につけさせる (5) 信頼と活力を生む開かれた学校づくりの推進 (6) 教職員は服務規律を遵守し、働き方改革を推進する。

豊かな人間性

- ・道徳・道徳プラスを核としたすべての授業における人間としての在り方・生き方の自覚を促すための指導
- ・社会性や豊かな人間性を育むために、ボランティアや地域との連携による体験活動の推進
- ・部活動を通じた人格形成と目標に向かってみんなで努力する社会性、人間性の涵養
- ・予備校講師による講義や大学見学・進路講演会・進学体験発表会等を通じた学問感・職業観の育成

健康・体力

- ・保健体育の授業における教育活動
- ・球技会等の学校行事によるスポーツ活動
- ・スポーツテストによる体力の検証
- ・運動部活動の日々の鍛錬による体力向上

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- ・習得すべき知識や技能が身につく。
- ・見通しを持って学習に取り組み、協働や対話によって自分の考えを伝えることができる。
- ・見方・考え方を働かせながら、課題を発見し、解決することができる。
- ・自己の進路について、必要な資質を自分で考え、その実現に向けて計画的に取り組むことができる。

資質・能力の育成



何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・多様な評価方法による評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につながるものにする。
(振り返りシート評価、R80によるリフレクション評価、思考力を測る学習課題の開発・実施)
- ・評価による指導改善の具体化と実行

子供の実態

- ・学習習慣や基礎学力を身につけていない生徒が増えている。
- ・素直であるが、受身で主体性に乏しい生徒が多く、向上心に欠ける。
- ・スマホ依存の生徒が増えている。
- ・近い関係の者には友好的である。
- ・学業と部活動の両立ができていない。

子供の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする子供への指導

- ・家庭やSC等と協力して個別の指導の充実
- ・生徒一人一人に細かく対応する少人数制授業・TTの実施
- ・学習や学校生活につまずいた生徒への個別の学習支援
- ・本人自らの長所の自覚と他人の長所に気づく寛容性の醸成

目指す子供の姿

- ・基本的生活習慣や学習習慣を身につけ、学校生活を有意義なものにできる。
- ・学習の意義を理解し、我慢強く学習に取り組み向上できる。
- ・自分のキャリア形成を見通し、計画的に進路実現に取り組める。
- ・他者との協働や対話によって積極的な人間関係を築き、社会生活を送れる。

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・主体的に学びに向かう力や共に学び合うことができる態度を育成し、学習課題に対して自ら解決していく授業の工夫。
- ・自己の進路を確立させるために、キャリア教育の充実を図る教育プログラム。
- ・各教科で育む資質・能力を明確にし、生徒一人一人が生き生きと活動できる授業内容を展開する。
- ・地域の産業や施設と連携して学習活動を行うことにより、社会との関連からより実践的な学びを行う。

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行い、思考力・判断力・表現力等を育む活動を展開する。
- ・知識や技能の習得を目指す。
- ・様々な場面で思考を促す活動をする。
- ・ICT機器を用いた教育活動を展開し、授業のユニバーサルデザイン化を図る。

実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・学校全体で、生徒の思考力・判断力・表現力等を伸ばすために指導法改善ができる研修機会の設定、実践していく体制づくり
- ・土浦市役所・土浦市内小中学校・かすみがうら市役所・かすみがうら市内小中学校・土浦市内高校・地域公共機関・地域施設・地域企業との連携強化のための地域連携協議会の確立と地域学校協働本部の設置
- ・地域及び家庭への日々の情報発信のツールとしての会報・HP・県フォトニュース・各種マスコミの活用

安心・安全を守る

- ・いじめ防止対策会議:いじめ等問題行動の未然防止、いじめが発生した時の迅速な対応
- ・適切な人間関係の構築の指導と安全教育:道徳及び道徳プラス 学校保健安全計画の策定と実施
- ・危機管理マニュアルの策定と緊急事態発生時の対処・連絡体制の周知
- ・交通安全講話(年1回)、自転車点検による交通安全教育
- ・登下校指導・校内外の巡視による生徒の安全指導、生徒指導 外部機関との連携

開かれた学校づくり

- ・学校評議員による教育活動の検証
- ・PTA会報やHP、各種マスコミ等の活用による地域・家庭への情報発信
- ・毎年開催されている文化祭等の学校行事への参加
- ・地域のイベント等への積極的な参加(フェスティバル神立、学祭 Tsuchiura)
- ・地域と連携した防災訓練や地域の老人ホームや保育園等の施設でのボランティア活動
- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の制定